



# 2026 年 加温ハウスぶどう病害虫防除暦

JA 中野市園芸課  
JA 中野市ぶどう部会

散布日	散布時期	散布薬剤(水 100ℓ当り)	収穫前 使用時期	使用 回数	散布量 (ℓ/10a)	対象病害虫 (発生病害虫)	注 意 事 項
カイガラムシ類発生園地は主幹・主枝の粗皮削りを行う【耕種的防除】							
／	発芽直前	① 展着剤(ハイテンパワー) 10 ml パスポート顆粒水和剤 400 g	休眠期	1 回	250	晩腐病 黒とう病	
発芽直後 カイガラムシ類 特別対策		樹幹塗布 水 20 ml アルバリ ン顆粒水溶剤 20 g	幼果期まで	塗布 1 回	1 樹当り 20-40 ml	コナカイガラムシ類 クビアカスカシバ	塗布方法 ① 水：アルバリ ン＝1：1 で調合 ② 目安：直径 10 cm以上樹 20 ml、直径 20 cm以上樹 40 ml ③ 主幹分岐部下 30～50 cm程度、粗皮削りし塗布する。
／	展葉 6 枚目頃	② 展着剤(ハイテンパワー) 10 ml トランスフォームフロアブル 50 ml ジマンダイセン水和剤 100 g	3 日前 45 日前	3 回 2 回	300	べと病・晩腐病 褐斑病・黒とう病 さび病 アザミウマ類 カイガラムシ類	① 薬害発生回避のため、高温時には散布しない。 ② 注意：ジマンダイセン・ゾーベックエニベル顆粒水和剤等のマンゼブ 成分を含む農薬の年間使用回数は 2 回までとする。
特別散布		展着剤(ハイテンパワー) 10 ml フェニックスフロアブル 25 ml	14 日前	2 回	300	スカシバ類・ケムシ類 ハマキムシ類 ハスモンヨトウ	
／	展葉 9 枚目頃	展着剤(ハイテンパワー) 10 ml ストマイ液剤 20 100 ml	満開予定日 14 日前～ 開花始期	1 回	300	無種子化	① 花穂に当たるようたっぷり散布する。
／	展葉 7～11 枚頃	展着剤(ハイテンパワー) 10 ml フラスター液剤 ml	新梢展開葉 7～11 枚時 (開花始期まで)	2 回	150	着粒増加 新梢伸長抑制	① 品種により倍率が異なるため、散布前に必ず登録内容(ラベル等)を確認する。 シャインマスカット・クイーンルージュ®：2,000 倍 種なし巨峰：500～800 倍(10 a 当り 100～150ℓ) ナガノパープル：500～800 倍 ② 弱樹勢樹や若木等是新梢伸長が弱る可能性あるため、散布を控える。
／	開花直前	③ 展着剤(ハイテンパワー) 10 ml トクチオン水和剤 125 g ロブ ラール水和剤 66 g	45 日前 60 日前	3 回 3 回	300	灰色かび病・白腐病 (黒とう病) アザミウマ類 コナカイガラムシ類	① 灰色かび病防除重点事項 ◆ 温度管理を徹底し、生育ステージを揃える。 ◆ 開花直前・落花直後の防除を 10 日以内で実施する。 ◆ 花穂(果房)にしっかりと薬剤をかける。 ② 主幹・主枝部にも薬液が到達するようにする。
／	落花直後	④ アミスター10フロアブル 100 ml グレーシアフロアブル 25 ml カネマイ トフロアブル 100 ml	30 日前 7 日前 14 日前	3 回 2 回 1 回	300	べと病・灰色かび病 晩腐病・褐斑病 黒とう病・さび病 チャノキイロアザミウマ フタテンヒメヨコバイ ハスモンヨトウ・ハダニ類	① カイガラムシ類の発生園はコルト顆粒水和剤 3,000 倍(前日、3 回)を加用する。 ② 汚れや果粉溶脱の恐れがあるため、散布遅れに注意する。
／	満開 10 日後	【強樹勢特別散布】 登録品種:シャインマスカット・ ピオーネ・ナガノパープルのみ  フラスター液剤 200 ml	満開 10 日～ 20 日後、但し 60 日前まで	2 回	150	新梢伸長抑制	① 登録品種：シャインマスカット、ピオーネ、ナガノパープルのみ(ナガノパープルは、収穫前日数(60 日前)に注意する)。 ② 弱樹勢や若木等是新梢伸長が弱る恐れがあるため、散布を控える。
特別散布 落花 10 日後		オンリーワンフロアブル 50 ml	前日	3 回	300	晩腐病・褐斑病 黒とう病・うどんこ病 灰色かび病・白腐病 すす点病・さび病	① 汚れや果粉溶脱の恐れがあるため、散布遅れに注意する。 ② 褐斑病の発生がある園地は必ず散布する。
特別散布 (袋かけ後)		展着剤(ハイテンパワー) 10 ml モベントフロアブル 50 ml	7 日前	3 回	300	カイガラムシ類 ハダニ類・アザミウマ類 ブドウサビダニ	① カイガラムシ類、ハダニ類発生園は散布する。 ② 主幹害虫対策：主幹・主枝にも薬液が到達するようにする。
袋かけ後以降のハダニ類発生園は、コロマイ ト水和剤 2,000 倍(7 日前、2 回、10 a 当り 300ℓ)を特別散布する。							
／	収穫後	⑤ 展着剤(アビオンー E) 50 ml ムッシュボルドーDF 200 g	—	—	400	べと病 さび病	① 褐斑病多発園地 対策：ムッシュボルドーDF に代えてジマンダイセン水和剤 1,000 倍(45 日前、2 回)を使用する。＊注意：ジマンダイセン・ゾーベックエニベル顆粒水和剤等のマンゼブ 成分を含む農薬の年間使用回数は 2 回までとする。 ② ムッシュボルドーDF に代えてクミガード SC の 1,000 倍を使用してもよい。
／	ビニール 除去後	⑥ 展着剤(アビオンー E) 50 ml IC ボルドー66D 2.5 kg ダイアジノン水和剤 34 100 g	— 30 日前	— 2 回	400	べと病・(さび病) アブラムシ類 ハマキムシ類 ミドリヒメヨコバイ クワコナカイガラムシ 若齢幼虫	① IC ボルドー代替：ムッシュボルドーDF の 500 倍又はクミガード SC の 1,000 倍を使用してもよい。ただし、ムッシュボルドーDF を使用する場合は、高温時や降雨後の散布で薬害を生じる恐れがあるため、クレフノン 100 倍を加用する。
／	8 月下旬	⑦ 展着剤(アビオンー E) 50 ml IC ボルドー66D 2.5 kg	—	—	400	べと病 (さび病)	

◆ 安全・安心の農産物生産のために使用基準を厳守しましょう。

当防除暦の複製・コピーを禁止します。

◆ 混用例：展着剤 ⇒ 液剤⇒ 乳剤⇒ 顆粒水溶剤⇒ 水溶剤⇒ フロアブル⇒ ドライフロアブル (DF) ⇒ 顆粒水和剤 (WDG) ⇒ 水和剤